

No.20

電気化学評価システム

製造・型式：

株式会社東陽テクニカ
580

設置場所：

(津島) 新技術研究センター 106 室

利用料金：

学内：¥ 2,000 / 1 試料
学外：¥ 3,500 / 1 試料
(自己測定)



用途・特徴：

充放電測定；充放電特性，エネルギー密度などを測定し，電池材料・キャパシター材料としての評価を行います。

測定可能な試料の形態：

固体^{注1}

注1 … 材料の充放電特性を測定（電池として評価）する場合，電池（ハーフセル，フルセル）の組み立てが別途必要です。

測定時間の目安：

数時間～十数時間

用意して頂くもの：

特になし。サンプル（組み立てた電池[※]）をご持参ください。

※ 電池（ハーフセル，フルセル）の組み立てについては，機器を共同管理している [おかやま次世代電池共創コンソーシアム](#)（後述）に相談可能です。

（備考）

[おかやま次世代電池共創コンソーシアム](#)

「おかやま次世代電池共創コンソーシアム」は、岡山県「大学と連携した地域産業振興事業」の一環として、次世代電池分野におけるデバイス、モジュール、材料、製造プロセス、計測等に係る共同研究（以下「共同研究」という。）を目指す複数の企業及び複数の研究者が参画し、多面的な連携による共同研究の促進を図る「共創の場」として令和2年2月に設立され、活動を開始しました。

HP より抜粋） <https://www.orzd.okayama-u.ac.jp/jisedaidenchi/>